1. 病 名		ACUTE HEPATOPANCREATIC NECROSIS DISEASE (AHPND)(=EMS/AHPND) 急性肝すい臓壊死病
2. 病 原 体		Vibrio parahaemolyticusの変異株
	a)分類	ビブリオ科(Vibrionaceae) ビブリオ属(Vibrio)
	b) 形態	桿菌
	c) 特 徴	グラム陰性菌。 主に肝膵臓に病変を示す ¹⁾ 。 実験感染では浸漬攻撃、経口投与により感染成立 ¹⁾ 。自然感染においても経口および同居感染が主と考えられている ¹⁾ 。 これまで、感染エビを消費することによる人体への影響は報告されていない ¹⁾ 。 病原因子はゲノムDNAではなく、プラスミドDNAに由来する ^{2, x)} 。 X)S.Tinwongger et al. 2016
3. 地理的分 布		 中国、マレーシア、タイ王国、ベトナム、メキシコ ¹⁾ 、フィリピン ^{5, 6)}
4. 宿 主		ウシエビ(Penaeus monodon)、 ホワイトレッグシュリンプ(Liptopenaeus vannamei)、 コウライエビ(Fenneropenaeus chinensis) ¹⁾ (クルマエビに対する病原性は不明だが、ビブリオ属の細菌による疾病がクルマエビにも存在すること、また、本菌の病原性がその他の項に示すように菌体外に分泌される毒物によるものだとすれば、クルマエビに対しても病原性を持つ可能性がある。)
5. 発生情報		
	a)潜伏期間	_
	b) キャリアー	
	c) 感染経路 d) ベクター	- 水平感染
	e) 蔓延状況(死 亡率、罹患率な ど)	
	f) 感染ステージ	・ポストラーバ、稚エビ
	g)感染要因	・4月から7月までの乾季に発生する傾向がある。過剰な給餌、低品質な種苗、水質の悪化、低品質餌料、藻類の繁茂あるいは枯死が発生につながる可能性がある ^{7,8)} 。
6. 症 状	•	
J. 700	a)臨床症状	・肝膵臓が色素を失い白色化する ¹⁾ 。 ・肝膵臓が委縮し、硬化する ¹⁾ 。 ・外骨格の軟化、腸管内消化物が不連続であったり、もしくは無い ¹⁾ 。 ・肝膵臓に黒点や黒筋が認められることがある ¹⁾ 。 ・重篤感染エビは底に沈む ¹⁾ 。
7. 検 査 法	b)組織検査	・肝膵臓のR、B、F細胞の減少に続くE細胞の分裂活性の減少を伴う、急性的な進行性姿縮か認められるい。 ・病変は近位(口側)から遠位(肛門側)に進展し、R、B、F、E細胞の機能障害、肝膵臓細管粘膜細胞の顕著な核肥大を示し、肝膵臓細管内腔で包囲化され崩壊するい。 ・崩壊した肝膵臓細胞より放出された基質は細菌増殖を助長し、重度の二次的細菌感染を引き起こす。末期には肝膵臓は完全に崩壊するい。 ・肝膵臓細管上皮細胞の初期の崩壊および二次的細菌感染への進展に付随し、顕著な細管内血球凝集、血球による壊死した肝膵臓細管の包囲化あるいは肝膵臓細管のより近位部におけるメラニン化が起きるい。 ・生きたエビを用し、ダビッドソン液で固定した稚エビ全体を用いるい
7. 快 宜 法	a)標的器官	•肝膵臓
	b) 簡易検査法 c) サーベーラン ス	無し PCR、シークエンス
	d) 確定診断 (参考)細菌公離	PCR、シークエンス
	(参考)細菌分離 培養細胞/分離	
	培養和肥/万藤	TCBS寒天培地
1		25~30℃、通性嫌気性
	培養条件	25° 30 C、迪住妹以住
	CPE/コロニー性	緑色のコロニーを形成(白糖非分解)
	ODE /	

	(参考)PCR		
	DNA 抽出法	市販のDNA抽出キット	
	プライマー、産物 サイズ	<pre><nested pcr検査(ポリメラーゼ連鎖反応法)="">⁹⁾ 1stステップ プライマーセット (AP4) AP4-F1: 5' -ATG-AGT-AAC-AAT-ATA-AAA-CAT-GAA-AC-3' AP4-R1: 5' -ACG-ATT-TCG-ACG-TTC-CCC-AA-3' PCR産物 1269 bp</nested></pre>	
		2ndステップ プライマーセット (AP4) AP4-F2: 5'-TTG-AGA-ATA-CGG-GAC-GTG-GG-3' AP4-R2: 5'-GTT-AGT-CAT-GTG-AGC-ACC-TTC-3' PCR産物 230 bp	
	プロトコル	反応条件(1stステップ) 94°C 2分 94°C 30秒 , 55°C 30秒, 72°C 90秒 (x 30 サイクル) 72°C 2分 反応条件(2ndtステップ) 94°C 2分 94°C 20秒 , 55°C 20秒, 72°C 20秒 (x 25 サイクル)	
8. 対 策			
	a) 殺菌·滅菌方 法	一般的な消毒剤に感受性を示す。数週間(菌数に依存)の冷凍あるいは55℃で5分や80℃で1分の加熱 処理により増殖能は失われる ¹⁾ 。 15分の酸性処理(ph 5)により増殖能を失う ¹⁾ 。 汽水で9日間、海水で18日間生存可能 ¹⁾ 。	
	b) ワクチン	_	
	c) その他		
9. 発生事例		2009年に中国で確認。2010年にベトナムで、2011年にマレーシアで、2012年にタイで、2013年にメキシコで、2014年にフィリピンで発症が確認されている ^{1, 5, 6)} 。	
10. その他		・本疾病は病原菌が、特定の毒素をコードするプラスミドを有する場合に引き起こされる。毒素のみでも本疾病の症状が再現される。菌が V. parahaemolyticus 以外の種に同定されてもこのプラスミドを持っていれば、本疾病の病原菌となりうる。	

出典

- 1) 国際獣疫事務局(OIE)水棲生物委員報告書(甲殼類疾病):
- $http://www.oie.int/fileadmin/Home/eng/Internationa_Standard_Setting/docs/pdf/Aquatic_Commission/AHPND_DEC_2013.pdf$
- 2) 近藤秀裕・Sasiwipa Tinwongger・Porranee Proespraiwong・Rapeepat Mavichak・Sasimanas Unajak・野崎玲子・廣野育生(2014):タイのバナメイエビより分離されたEMS/AHPND原因Vibrio parahaemolyticusのゲノム解析、平成26年度日本魚病学会、
- 3) T.W. Flegel, C.F. Lo(2013):「急性肝すい臓壊死病原因菌検出用プライマーに関する通知」
- http://www.biotec.or.th/en/images/stories/Workshops/2013/Announcement_AHPND%20Detection%20Method.pdf
- 4)Tran, L., L. Nunan, R. M. Redman, L. L. Mohney, C. R. Pantoja, K. Fitzsimmons, and D. V. Lightner (2013) Determination of the infectious nature of the agent of acute hepatopancreatic necrosis syndrome affecting penaeid shrimp. *Dis. Aquat. Org.*, **105**, 45–55.
- 5)DE LA PEÑA L.D., CABILLON N.A., CATEDRAL D.D., AMAR E.C., USERO R.C., MONOTILLA W.D., CALPE A.T., FERNANDEZ D.D. & SALOMA C.P. (2015). Acute hepatopancreatic necrosis disease (AHPND) outbreaks in Penaeus vannameiand P. monodon cultured in the Philippines. Dis. Aquat. Org., 116, 251–254
- 6) DABU I.M., LIM J.J., ARABIT P.M.T, ORENSE S.J.A.B., TABARDILO J.A., CORRE V.L. & MANINGAS M.B.B. (2017). The first record of acute hepatopancreatic necrosis disease in the Philippines. Aquacult. Res., 48, 792–799
- 7) FAO (2013). Report of the FAO/MARD Technical Workshop on Early Mortality Syndrome (EMS) or Acute Hepatopancreatic Necrosis Syndrome (AHPNS) of Cultured Shrimp (under TCP/VIE/3304), 2013. Hanoi, Viet Nam, 25–27 June 2013. , FAO Fisheries and Aquaculture Report No. 1053, Rome, Italy, 54 p
- 8) NACA (2012). Report of the Asia Pacific emergency regional consultation on the emerging shrimp disease: Early mortality syndrome (EMS)/acute hepatopancreatic necrosis syndrome (AHPNS), 9–10 August 2012, Published by the Network of Aquaculture Centres in Asia-Pacific, Bangkok, Thailand.
- 9) DANGTIP S., SIRIKHARIN R., SANGUANRUT P., THITAMADEE S., SRITUNYALUCKSANA K., TAENGCHAIYAPHUM S., MAVICHAK R., PROESPRAIWONG P. & FLEGEL T.W. (2015). AP4 method for two-tube nested PCR detection of AHPND isolates of Vibrio parahaemolyticus. Aquaculture Rep., 2, 158–163